



東小だより

第22号

桐生市立東小学校

令和4年1月11日

(文責 鈴木 智行)

やさしく かしく たくましい 東っ子

1/11 3学期始業式 ～ 前向きな気持ちでがんばる ～



昨年中は本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今日から3学期がスタートします。2学期と比べると30日ほど短い、わずか51日（6年生は50日）の授業日数です。新しい年のスタートではありますが、一方で学年まとめの学期でもあります。1・2学期の成長を生かし、各教科等の学習や行事などを通して更に飛躍できるよう、教職員で力を合わせて児童を支援していきたいと考えています。

さて、本日の始業式では、『よい1年にするための新しい習慣』として、『あげあげ言葉』を使っていきましょう。」という話をしました。言葉には「良くも悪くも、言ったことがその通りになってしまうという不思議な力がある」といった考え方があります。「マイナスの言葉」を口にしてしまうことで、気持ちがますます下がり、意欲的に物事に取り組みなくなってしまう。自分の気持ちを上げるため、また、やる気を引き出すために自分に「プラスの言葉」をかけながら一歩踏み出していくことで、「自分のいいところ」や「まだ眠っている可能性」を発揮して行ってほしい、ということを児童に伝えました。

△ 「どうせ」「だって」「やるだけムダ」「そんなの意味がない」「面倒くさい」「カンケーない」「つまんねえ」など

↓

○ 「まずはやってみるか」「よし、がんばるぞ」「きっとできる」「今はガマンだ」「大丈夫」「何とかなる」など

ご家庭でもお子さんと「あげあげ言葉」を探し、普段の会話においてたくさん使っていたらありがたいです。



3学期のスタートにあたり

学年のまとめの時期である3学期は、「(O+1)年の0学期」と言われています。例えば、3年生であれば4年のゼロ学期、6年生であれば中学校1年のゼロ学期といったように、3学期は進級・進学に向けての準備期間としても位置付けられています。より充実した学校生活を送り、更なる成長を遂げるためにも「今の学年のまとめ」と「次の学年の準備」の両方を意識することが大切です。まずは、「進級・進学した自分はどのようになっていたいか」をイメージし、「そのために、今、何をしたらよいか」を考えていくとよいでしょう。機会をとらえて、ご家庭においてもお子さんと一緒に「3か月後の姿」と「今すべきこと」について話し合っていたらと思います。